

使用教材

生徒用テキスト	動画	社会的課題カード (12種類)	10万円券
			
※紙媒体の場合1人1冊 ※WEBサイトにPDF有	※WEBにて視聴可能	(WEBワーク) 社会的課題カードを めくろう	※WEBで授業を行う場合は 事前に「10万円券.pdf」を 人数分印刷

生徒用WEBサイト

<https://www.j-flec.go.jp/>XXXXXXXXXXXXXXXXXX

動画内容

▶ 動画① はじめに(4分)

- ・企業(会社)は利益を目的として活動しているが、社会的責任を果たす役割もある。
- ・会社の提供するモノやサービスにより私たちの暮らしが豊かで便利になる。
- ・会社がモノやサービスを提供するために資金を集める(資金調達)必要がある。
- ・「間接金融」と「直接金融」のしくみ




▶ 動画② ワーク①説明 社会的課題を解決する株式会社をつくろう!(2分)

- ・ワーク「社会的課題を解決する株式会社をつくろう!」の進め方を説明する。
- ・社会的課題を解決する株式会社をつくる。
- ・投資家(ほかの生徒)に応援(投資)してもらえるような魅力的な起業プランを考える。

▶ 動画③ まとめ(1分)

- ・起業することによって社会的課題を解決できる可能性がある。
- ・投資を通じて社会的課題を一緒に解決できる可能性がある。

学習の展開

	授業の流れ	活動	指導のポイント
導入 10分	ポイント説明 動画①を視聴(4分) 生徒用テキスト:P.1,2	・動画の視聴 	・会社(企業)は利益を得るだけでなく、社会的責任を果たす必要があることを伝える
展開 25分	ワーク説明 動画②を視聴(2分) 生徒用テキスト:P.3,4	・動画の視聴 	
	グループワーク ※社会的課題カードを使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は4人程度のグループ(班)に分かれて、これから会社をつくろうとする起業家として3つの社会的課題グループの中から、1つを選択する。 ・先生は各グループ(班)に、各グループ(班)が選択した社会的課題のカードを渡す(裏面を見せて選ばせない)。 ・社会的課題カードの裏面には、起業プランが記載されているため、各グループ(班)はその内容を確認する。 <p><WEBワーク> 社会的課題カードをめくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ(班)で選択した社会的課題カードをクリック。 ※4枚ある社会的課題カードのうちいずれか1つを選択しクリックすると起業プランが表示される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題カードを配布する際は、グループ(班)ごとに異なる課題を受け持つように、起業プラン(課題)がかぶらないように調節する ・時間に余裕がある場合は裏面の起業プランを見せて、生徒たち自身(グループ(班))に選ばせても良いが、その場合も起業プランがかぶらないように調節する <p><WEBワーク> 社会的課題カードをめくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業プラン(課題)がかぶらないように、社会的課題カードに付されている項番(例:A-1、A-2等)を分けて選択させる
	グループワーク 生徒用テキスト:P.5 ※ワークシート①を使用	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ(班)は自分たちの起業プラン、解決できる社会的課題などをワークシート①に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業プランに付け加えるアイデアがあればワークシート①に記載するよう伝える ・時間に余裕があればグループ名は会社名として考えても良い ・時間に余裕があれば起業プランはカードに記載されていない独自のプランでも良い

★カスタマイズでの授業Point!

- ・社会的課題を解決する起業プランがSDGsのどの課題解決につながるか考えさせても良い。
- ・ここまでの活動で1時間とし、以下の活動を2時間目として展開することも可能。